

古典派盤を聴く(1)(HP 収載)  
ー最新アナログシステムでの試聴(1)ー

1. 始めに

[LINN LP-12 の再構成\(35\)](#)および [ThorensTD124 の再構成\(1\)](#)で報告しましたようにこれらのアナログシステムの大幅な変更を行い、バッハ、テレマン、ヘンデル、ヴィヴァルディ、ハイドンのアナログ盤を聴き直してきました。今回は、ハイドンに続く古典派作曲家盤を聴いてみることにしました。

2. 古典派のアナログ盤の試聴方法

試聴システムは、LINN LP-12 の再構成(35)および ThorensTD124 の再構成(1)で報告したとおりであり、古典派のアナログ盤をレーベル毎、録音年代毎に整理して、LINN LP-12 と ThorensTD124 のいずれか、または両方で聴いていきます。その後、さらにアンチスタティックの効果(1)とアンチスタティックの効果(2)で報告したようにレコードアンチスタティックも加わり、今回も、スピーカーアキュライザーの出力側のマイナス端子に Crstal EpY-G をセットしています。また、今回も Magic Mat II の導入(2)で報告した Magic Mat II を使用しています。

さらに ZANDEN Model 120 の仮想アースが、Crystal E から Crystal E-G に代わっています。

今回は、次のヴィオッティ盤を聴いていきます

**ERATO 45E-8 (45 回転盤)**

ジョヴァンニ・バッティスタ・ヴィオッティ 2 本のフルートのための協奏曲イ長調

ジャン・ピエール・ランパル (フルート)

ランソム・ウイルソン (フルート)

クラウディオ・シモーネ指揮イ・ソリスト・ヴェネーティ

**Columbia MS-1087-VX**

ジョヴァンニ・バッティスタ・ヴィオッティ

ヴァイオリン協奏曲第 22 番イ短調

ピアノとヴァイオリンのための二重奏曲

ズザンネ・ラオウテンバッハー (ヴァイオリン)

マルティーン・ガリング (ピアノ)

C.A.ビュンネ指揮ベルリン交響楽団

3. 古典派のアナログ盤の試聴結果

ERATO 盤のヴィオッティの 2 本のフルートのための協奏曲は、RIAA、R、第 4 時定数 Mid で聴いて行きましたが、違和感はなく、45 回転盤らしくレンジが広く感じられます。ランパルとウイルソンのフルートが、ふくよかに競うように生き生きと演奏されます。シモーネ指揮イ・ソリスティ・ヴェネーティの弦と木管も華やかに彩りを添えます。

Columbia 盤のヴィオッティのヴァイオリン協奏曲第 22 番とピアノとヴァイオリンのための二重奏曲は、Columbia、R、第 4 時定数 Low で聴いて行きましたが、違和感はありません。ヴァイオリン協奏曲第 22 番は、明るい中にも哀愁を秘めた繊細なヴァイオリンが歌います、ピアノとヴァイオリンのための二重奏曲は、細身のヴァイオリンと響きの豊かなピアノの二重協奏曲という構成です。

#### 4. まとめ

LINN LP-12 の再構成(35)とアンチスタティックの効果(1)とレコードアンティスタティックやスピーカーアキュライザーの Crstal EpY-G と Crstal E-G や Magic Mat II の結果をトレースでき、レーベルのイコライザー特性が特定できました。

以上